

広報担当が聞く!

教えて! 村長さん ネイチャーポジティブ宣言について

6ページでもお知らせしましたが、村はこの度、県内自治体初となる、「ネイチャーポジティブ宣言」を行いました。今回は宣言の意図と今後の展望をお伝えします。(敬称、敬語は省略)

Q 「ネイチャーポジティブ(自然再興)」とは何でしょうか。

A 日本語では「自然を減らさず、増やしていく(自然再興)」と訳されます。開発や環境破壊によって失われたつある生物多様性(生き物の豊かさ)の減少を食い止め、2030年までに自然を「回復軌道」に載せることを目指す世界的な取り組みです。

Q なぜ村は「ネイチャーポジティブ宣言」をするのでしょうか。

A 村の豊かな自然は、草原の冬期湛水による地下水涵養など、長らく人々の手によって維持されてきました。また村は、全国6位の草原面積を誇ります。この草原は美しい景観を生み出すだけでなく、多様な生き物を育み、水を蓄え、地域の暮らしを支える重要な役割を果たしています。しかし、野焼きの担い手がいなくなれば、草原は森林化し、その価値は失われてしまいます。



世代を超えて継承される野焼き

そこで私たちは、これまで続けてきた取り組みが、地下水の保全や生物多様性の維持、景観形成にどのような効果をもたらしているのかを、先端技術を使い可視化していきます。自然を守る取り組みの効果や価値が「見える化」されれば、村内外から理解が得られ、多くの共感につながります。そして、その共感が企業などからの投資や支援を呼び込み、それが村民の新たな収入となり、更なる保全につながる。この持続可能な好循環を目指します。私は、この自然資本を未来へつなぎながら、自然環境の保全と地域経済の発展を両立させる「南阿蘇村モデル」の実現に挑戦します。

Q 宣言の実現に向けて、村はどう取り組むのですか？

A 「南阿蘇村モデル」は、次の5つの柱に沿って行動します。

① **草原の命を育み、未来へつなぐ**
あか牛の放牧や野焼きといった草原を守る仕事をみんなで支え、景観と豊かな生態系を未来へ引き継ぐ。

② **命の源である「水」を守り、暮らしを支える**
湧水の源である草原や森を適切に管理し、地下水の涵養や良好な水質を維持することで、暮らしを支える水環境を守る。

③ **自然の恵みを活かして、潤いのある村をつくる**
阿蘇の景観や水などの地域資源を活かした新たな産業や仕事を生み出し、その利益を自然保全へ還元する好循環をつくる。

④ **阿蘇を想う暮らしを選び、共感の輪を広げる**
草原や地下水を守る取り組みの価値を可視化し、村の自然を次世代へ継承するため、村内外に共感の輪を広げる。

⑤ **地域の知恵と最新技術で「南阿蘇村モデル」を届ける**

住民・企業・大学・行政が手を取り合い、最新技術を活かしながら、世界に誇れる「南阿蘇村モデル」を力強く発信する。

Q 最後に、村民の皆さんへメッセージをお願いします。

A 今回「ネイチャーポジティブを考える」と題して開催した記念講演にも、約50人の皆さんにお集まりいただきました。アンケートでは「価値観ではなく、データに基づいた客観的な考えに共感した」など、期待の聲が大半でした。

私は、「開発か保全か」という過去の価値観対立ではなく、自然環境の保全と地域経済の発展が両立する「共存」を目指します。これからも野焼きや冬期湛水などを通じて村民同士で力を合わせながら、豊かな自然を未来へ引き継ぎ、世界に誇れる「南阿蘇村モデル」を実現します。



豊かな地下水を守るための冬期湛水